



こんにちは
横浜市議員

日本共産党
週刊ニュース

宇佐美 さやか

2016年4月6日号
日本共産党神奈川県事務所

横浜市神奈川区西神奈川3-2-17
電話：491-6843、FAX：491-6892
<http://www.usami-sayaka.jp//>

教育・福祉・くらし優先の予算に組替を提案

日本共産党は3月25日、予算組替動議を横浜市議会に提出しました。

予算組み替えの基本方針は、不要不急の大型公共事業や、特定企業を利する市街地再開発などを凍結・中止し、その財源を市民生活の安心・安全のための事業・施策に振り向けるとともに、市債発行を減額し、将来世代の負担を軽減することです。また、政務活動費とは別枠で実施される海外視察費、みどりを壊す線引き見直しなど、市民理解の得られていない諸施策については中止することです。

組替動議の趣旨説明を行ったみわ智恵美議員は、子どもの貧困が国家的な課題となり、増税や医療・介護の負担増、広がる不安定雇用のも

とで市民の暮らし向きは厳しさをますますばかりだと述べました。しかし、新年度予算は貧困と格差を広げてきたアベノミクスを推進するもので、それでは「福祉の増進という地方自治体の本来の使命を果たすことができない」と指摘。子どもの貧困対策や市民の暮らし応援、安全安心でみどり豊かな横浜をつくっていく施策へと切り替えるべきだとして、予算の再提出を要求しました。

採決の結果、日本共産党の賛成のみで組替動議は否決されました。なお、市長提案の一般会計を始めとする予算案は、全て賛成多数で可決されました。

2016年度予算組替の主な内容

高速横浜環状道路北西線・南線整備事業の凍結
南本牧ふ頭MC-4建設事業の凍結
東高島駅北地区開発事業の凍結
横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発事業の凍結
I R (カジノを含む統合型リゾート)等検討費の全額カット
新市庁舎整備事業の全額カット
市議員の費用弁償・海外視察費の全額カット 等
14事業を見直し 市債220.6億円、一般財源34.5億円
合計 255.1億円を捻出



写真上：組替動議の趣旨説明を行うみわ智恵美議員



写真左：予算反対討論を行うかわじ民夫議員

中学校給食の実施(2017年1月より開始、4年計画で全校実施に)
小3での35人学級の実施
小6まで小児医療費助成制度(通院)拡大(10月より実施)
低所得世帯向け高校育英資金制度を創設(年間12万円×1000人)
特別養護老人ホームの追加建設(100人定員、ショートステイ20人、4か所)
同報型防災行政無線の設置事業(2年計画で計4000か所)
市営住宅の市有地での新規建設(200戸) 等

12施策・事業に市債189.8億円、一般財源34.5億円を支出

